

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	3	高齢者などを地域で支える環境をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	介護高齢福祉課長 植田 美由喜
-------	---	--------------------	---------------------	--------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 政 策	快適 地域で支え合う福祉のまちづくり
① 市民意識調査結果		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 市民意識調査によると、必要度は平均よりやや高く満足度はやや低いということが分かる。このことから、地域の支えにはやや不安を感じていることが分かる。
③ 基本施策の現状と課題	高齢者や障がいのある人、子どもを持つ家庭などを行政の支援だけで支えていくには限界がある。住民自治協議会やボランティアの活動が活発になるための支援必要。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	高齢になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けることができるように、地域で見守り支えうため、住民自治協議会をはじめとする自主的な福祉活動を支援できる体制を整える。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		重点化
ボランティア		ボランティア活動団体数		1
いきいきと		ふれあいいきいきサロンの開催箇所数		2

基本施策指標名	単 位	過年度実績			評価年度	目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22		H25	H30			
1 ボランティア団体数	目 標	団体	300	150	139	140	140			
	実 績	団体	127	139						
	達成率	%	42.3	92.7						
2 ふれあいいきいきサロン開催箇所数	目 標	箇所	220	240	240	250	260			
	実 績	箇所	180	235						
	達成率	%	81.8	97.9						
	目 標									
	実 績									
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						
	目 標									
	実 績									
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			重点化	
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額		
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	260	伊賀市社会福祉協議会職員設置等事業補助金等	有	139,493	139,149	138,700	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					139,493	139,149	138,700	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	地域に偏りなく体制を整えるには、住民自治協議会の活躍が重要であるが、住民自治協議会は、ほぼ市全域に設立されているため、ボランティア活動団体数の増加を推進する。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	伊賀市内の社会福祉事業又は更生保護事業を経営する過半数が参加する協議会であることと、市全域において社会福祉事業を行う団体であるため、市民全体への効果が見込める。
3 役割分担の妥当性	地域福祉推進のため、社会福祉に関する活動への住民参加を得るために事業の健全な運営を進めている。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	市は地域福祉の現状と課題を常に把握し、それに対応する施策の立案を適時に行わなければならない。政策立案に際し、社会福祉協議会が持つ知識や経験の提供を求める。また、それを実行する地域(住民自治協議会など)や、ボランティア団体等とともに、社会福祉協議会の活動が必要である。